

希学園 第410回 小3公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第410回公開テスト 小3国語 解説動画(2026年7月12日実施)	https://vimeo.com/1208981488/61706552bd

1

①

土手

②

空

き

③

休日

④

方角

⑤

色紙

2

1

I

少

し

ゝ

場

所

II

ふ

ん

【完答】

2

A

ウ

B

ア

3

ウ

4

イ

5

I

2

II

2

III

1

3

1

まこ(ちゃん)

2

ウ

3

レ

ス

ト

ラ

ン

4

国

語

の

こ

と

5

A

エ

B

イ

6

エ

7

ち

8

3

配 点

1

各2点× 5 = 10点

2~3

各5点× 18 = 90点

<計> 100点

- ① 小学校2年生までに学習した漢字から出題している。①「土手」とは、堤防のこと。漢字を知っていてもことばを知らないと答えられないことがある。意味や使い方も合わせておぼえよう。②「明」や「開」と書かないように気をつけよう。③「休日」は休みの日のこと。「休」を「体」とまちがえないようにしよう。④「方角」は東西南北の向き。方位、方向のこと。「角」の五七画目はタテヨコヨコである。⑤「色紙」は「しきし」のほかに「いろがみ」という読みもある。それぞれ意味がちがうので、きちんと使い分けよう。

- ② 白岡真紀 『おいしいをつくるチョコレートのおいしいこと事典』 ※問題作成の都合上、一部表記を変更しています。

- 1 カカオの実（Ⅱカカオポッド）が動物たちによって「どこ」へ運ばれて、種がすてられたり、「なに」として外に出されたりするかと考えて本文をたどると、最終段落に「カカオポッドは動物たちによって『少しはなれた場所』へ運ばれ、種が「すてられるか、『ふん』として外に出ます（Ⅱ出されます）」とあるので、あとは前後のつながりがおかしくならないよう、指定の字数に合わせてぬき出せばよい。
- 2 A あまい香りの果肉（Ⅱ食べられそう） ↓ A ↓ カカオポッドの皮はかたくて…食べられないという流れになつており、果肉と皮は食べられるかどうかで反対の関係になっているので「しかし」がはいる。
B カカオの種が動物たちによって遠くに運ばれる ↓ B ↓ そこで新しいカカオの木が育つので、自然なつながりをしめす「すると」がはいる。
- 3 動物たちがカカオの種をにがて（Ⅱ）だと感じるのはどうしてかと考えて本文をたどると、②の一、二行目あとに「この種の部分なのですが、生のままではしぶくて食べられないのです」とあるので、ウ「しぶい」が正しいとわかる。
- 4 ③の直前の一文を読むと、動物たちはカカオの種がある場所から別の場所へ運んでいると書かれているので、そのイメージに合っているイ「配達員」が答えであるとわかる。
- 5 I 最終段落から、カカオの木は動物たちの力によって育つ地域を広げたとわかるので、正しくない。
II カカオポッドは「実」、カカオパルプが「果肉」、そしてカカオパルプの中にあるのが「種」である。チョコレートの材料になるのは「種」なので、カカオポッド全体がチョコレートの材料になるとは言えない。
III 本文六、七行目に、「白くてふわふわしたカカオパルプはあまずっぱくてジュシーでおいしいので、動物たちはカカオパルプが大好きです」とあり、また本文五行目ではカカオパルプⅡ果肉とも書かれているので、正しい。

- ③ 村上しいこ 『まこちゃんとコトバロボ』 ※問題作成の都合上、一部表記を変更しています。

- 1 線①の三行あとで「わたし」が「まこの名前、まこちゃんって、言ってなかった？」と言ったのに対して、「そうです。まこちゃんです」とコトバロボが答えていることから、「まこ」Ⅱ「まこ（ちゃん）」である。
- 2 まこちゃんのおばあちゃんは何にこまっているのかと考えて本文をたどると、おばあちゃんはレストランにコトバロボをわすれてしまったとあったので、それが読み取れるウ「ロボットを置いてきてしまった」が正しいとわかる。
- 3 おばあちゃんがコトバロボをわすれたのはどこかと考えて本文をたどると、本文八、九行目でコトバロボが「あるおばあちゃんが：レストランで、お昼を食べた後、ぼく（Ⅱコトバロボ）をわすれていってしまったのです」と言ったり、本文うしろから四六行目でコトバロボが「レストランに、おいていかれたとき…見うしなっていました」と言ったのに対しておばあちゃんが「いいえ、わたしこそ、うっかりして（Ⅱわすれてしまった）」と言ったりしていることから、「レストラン」にわすれたとわかる。
- 4 「そうだ。このロボット、④なら、ぼくにまかせてって、言ってた。」とあり、コトバロボは「何をまかせてほしい」と思っているのかと考えて本文をたどると、本文六行目で「はじめまして。ぼくは『コトバロボ』。国語のことなら、ぼくにまかせて」とあることから、「国語のこと」が答えになるとわかる。「勉強のため」も五字だが、直後とのつながりが悪いのでふさわしくない。
- 5 A 「目をかがやかせる」とは「期待や興味、喜びのようすが表情に出る」という意味である。Aの直前で、目の前にこの（国語の）ドリルがひらかれたので、コトバロボはとても喜び、興味を持っているのである。
B 「胸がいたい」とは「つらい気持ちになっている」という意味である。Bの前で、まこちゃんは本当は自分の力でドリルをやらずコトバロボに正解を教えてもらったのに、まるで自分一人で行ったかのように言ってしまった。
- 6 「わたし」が「⑤」と、言ったのに、と思ったあとでコトバロボがドリルの正解をどんどん言っていることから、「わたし」はまずは自分でやれたかったか、コトバロボといっしょにドリルをやれたかったのだろうということがわかる。
- 7 「ぎこちなく」とは「動作や表現がなめらかでない」という意味である。
- 8 ◎の文に「へやに、コトバロボを、つれていった」とあることから、この文は、「わたし」とママとコトバロボが話している場面と、まこちゃんの部屋の場面の境目のところにはいるはずだと見当をつけられる。【1】～【4】の前後をかくにんすると、【3】のあとで「わたし」がつくえにドリルをひろげていることから、◎の文は【3】にはいるとわかる。